

2009年5月 岩手大学“麦の会”

46年卒 小倉公範

期 日 平成21年5月3日(日)～6日(水)
同 行 者 往路は国米、復路は単独
交 通 手 段 JR夜行高速バス(東京駅～富山駅) & JR

今回の麦の会(岩手大学ユース hostelグループ昭和46年卒同期会)は“還暦祝”。開催場所は前回函館開催時に富山(山田妙子在住)に決定していた。昨年5月に開催しようという話もあったが、まだ還暦を過ぎていないメンバーが多いので今年になった。今回幹事の山田妙子(旧姓早野)は地元の曳山祭りを是非見せたいということで5月連休中の開催になった。個人的には混雑する連休開催には反対だったが、吉田以外は特に問題にする人もいないので何とかアクセス方法を確保(JR夜行バス)した上で参加。バスのチケットは国米に頼まれて僕がネットで申し込んで取得。慣れないので苦労した。

関西方面(石母田夫妻、柴田夫妻、伊東)や愛知県在住の木田、盛岡の関田夫妻は車で参加。まだ皆が免許もなかった昔のことを考えると時代も変わった。医王山に登るグループや前日から現地に乗り込む人、終了後更に1～2泊(山田邸)する人など動きも多岐にわたった。全員それぞれ楽しんだようだ。山田夫妻の努力には感謝!

平成21年5月3日(日)～4日(月) 八王子自宅→東京駅→富山駅→観光→小矢部市→城端宿坊

5/3(日)

晴 20:55 別所自宅発 小型ザックを背負って出発(オーストラリア旅行などに使用)

SUICAにチャージ 堀之内駅でチャージ 5,000円

21:07 京王堀之内発 先頭車両に乗った

(39') 京王線快速 多摩センターで国米が乗り込んだ(打ち合わせ通り)

21:46 京王新宿着 370円(SUICA)

21:51 JR新宿発

(14') JR中央線特快

22:05 東京着 190円(SUICA)

八重洲口 JRバス発着所へ歩いて移動。発着所は混雑していた。夜行バス路線数が多く、バスが次から次へと出入りしている。目当ての“ドリーム金沢”はしばらく来ないのでそれまで付近で時間をつぶした。

バス出発時間15分前に売店でカンビール350cc1本、ガムとチョコを購入。400円(国米は500cc1本購入)

22:30 バスに乗り込む ネットで購入した乗車票(チケット代わり)とTOPカードを提示

小型ザックはバス内に持ち込んだ(手荷物)。国米はかばんをバス下の格納室に入れてビールとつまみ類だけ持ち込んだ。バスは3列で座席の間が狭い通路になっている。トイレはバスの中ほど右側。我々の座席は僕が

晴

右窓側の最後尾から2つ目、国米は中央列の最後尾。満席だ。座席幅は思ったより窮屈だが、前後は広いので足を十分に伸ばせる。足置き、スリッパも用意されている。(座席 9C、10B)

22:40 東京駅発 (定刻)

(1° 48')

寝られるよう夜行バスの窓はカーテンで覆われている。最初は明るかったがすぐ照明が消された。会話をできる雰囲気ではない。一人で座席灯の明かりを頼りにビールを飲んだ。国米も最初は飲んでいたが諦めて寝たようだ。カーテンの隙間から時折外を眺めたが、大きな渋滞もなくバスは首都高から関越道へと進んで行った。

5/4 (月)

0:28 上里 SA 着

トイレ休憩。バス内の狭い通路を静かに移動、外に出て体を屈伸。特に買うものもないのでお茶だけ飲んですぐバスに戻った。

0:45 上里 SA 発

(4° 10')

→関越道→藤岡 JCT→上信越道→上越 JCT→北陸道→
意外と寝づらいがうとうとしながら過ごした。途中の SA で運転手交代など、バス会社の都合で停車(どこだか不明)。

4:55 有磯海 SA 着

トイレ休憩。一応外に出て SA 内を散策。国米は寝ている。明るくなって遠くに雪を抱く山々が見えた。

曇

5:20 有磯海 SA 発
(32')

→北陸道→富山 IC→ 順調

5:52 富山駅前着

トイレで洗面、髭剃り、歯磨き

蕎麦屋はまだ開いていなかったのので売店でおにぎり購入(かつお味梅)
@150×2=300円

6:34 富山発
(17')

氷見まで 650円 (現金:SUICA は使えず)

JR 北陸本線福井行各駅停車 車内でおにぎりを食べた。美味しい。通勤客が多い。

薄

6:51 高岡着

JR 氷見線に乗り換え

日

6:55 高岡発
(27')

あまほらし 雨晴 まで 180円

JR 氷見線氷見行各駅停車 お客は少なくのんびりしている。

7:22 氷見着

国米が改札の駅員に風向明媚な場所について相談。今日は曇天なので北アルプスは見えないが雨晴 駅海岸は一見の価値ありとアドバイスを受けた。

7:31 氷見発
(7')

JR 氷見線高岡行各駅停車

曇

7:38 あまほらし 雨晴 着
海岸散策

ここも駅員に聞いてから散策に出発

雨晴駅より氷見寄りの踏切を渡って海岸に出た。

海岸は防潮堤で仕切られていたが海はきれいな色をしている。コンクリート護岸、砂の部分があり高岡寄りにある景勝地を目指した。5~6分歩いて到着。自然の岩場を利用した神社と島があった。好天ならば、海を挟ん

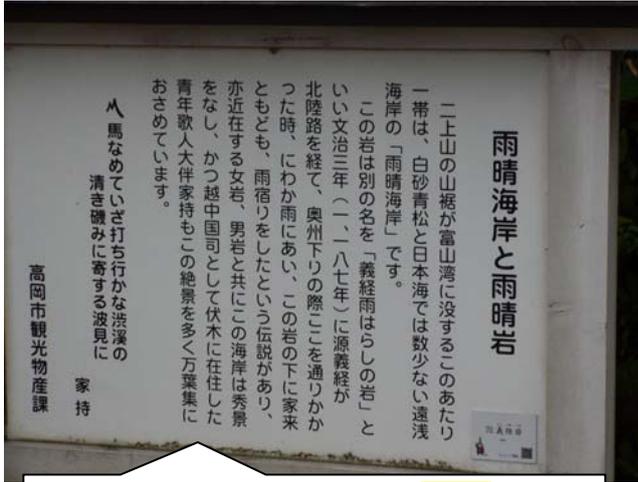


写真1 雨晴海岸と雨晴岩 (ビデオ圧縮)

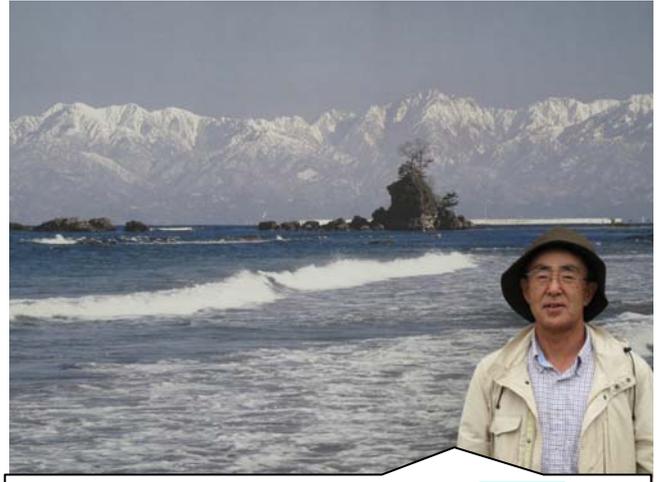


写真2 公範 雨晴駅前看板 (国米デジカメ圧縮)

踏切を渡って車道に出てから駅に戻った。

証拠写真として看板を撮影。

高岡までのチケットを購入した。

230円

ホームで珍しい名前

の駅名看板で記念撮影。

8:28 雨晴発

(22') JR 氷見線高岡行

8:50 高岡着

駅の蕎麦屋 天ぷらそば 380円

市内散策 国宝『瑞龍寺』まで徒歩で往復。僕はザックを背負っているが国米は手持つバックなのでコインロッカーに預けた。

市内のパンフレットを見ながら瑞龍寺を目指した。

途中数回地元の人に道を尋ねた。約15分で瑞龍寺の裏側に到着。そのまま中に入った。観光客で賑わっていた。

写真3 雨晴駅前写真看板 雨晴海岸から北アルプス 剣岳は中央・島の後方 (ビデオ圧縮)



写真4 公範 雨晴駅ホーム (ビデオ圧縮)



写真5 瑞龍寺構内 奥は本堂(ビデオ圧縮)



写真6 瑞龍寺本堂内仏像(ビデオ圧縮)

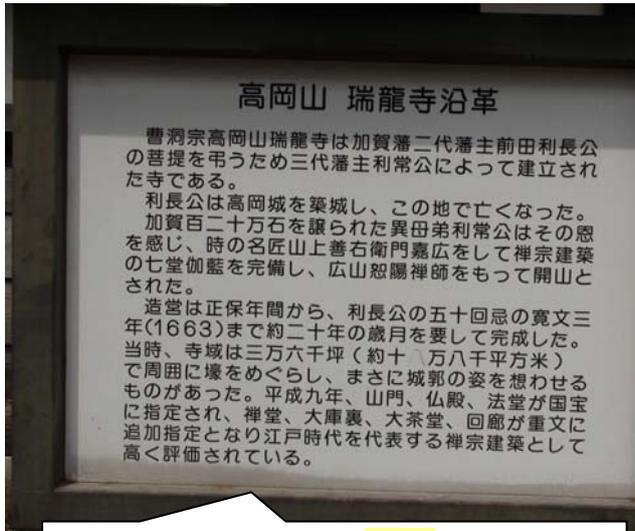


写真7 瑞龍寺沿革(ビデオ圧縮)



写真8 公範 瑞龍寺土間廊下(ビデオ圧縮)

曇

お寺から出る時正面に回ると受付で拝観料 500 円を取っていた。我々は横から入ったので気付かなかった。そのまま無賃拝観で失礼した。高岡駅までは別の道を通って戻った。国米の荷物はコインロッカーに預けたままで海王丸観光に向かうことにした。その時は万葉線で往復するつもりだった。

10:45 高岡発 万葉線(路面電車・トラム)

写真9 吉久・さまのこ屋(ビデオ圧縮)

2 輛編成の可愛い車両。ジュネーブの大きいトラムを思い出した。休日なので混雑している。料金は後払い。路線バスなどと同じく進むに従って加算される。(21') 国米が事前に調べているので今後の行動も彼にお任せ。僕は単についていくのみ。



曇 11:06 新吉久着 250円

散策 吉久の古い町並みを散策。さまのこ屋（千本格子）の建物が40棟余り残っている。加賀藩の米倉がつくられ、明治に入っても米商人の町として栄えた。パンフレットの地図を参考に吉久駅まで歩いた。



写真10 吉久・さまのこ屋 (ビデオ圧縮)



写真11 国米 万葉線吉久駅 (ビデオ圧縮)

曇 11:38 吉久発 写真11は高岡駅に向かうトラム
(18') 旧型の路面電車

11:56 海王丸着 250円

歩いて海王丸パークに向かった。連休中なので混雑。出店や遊戯場など子供向けのイベントが盛り沢山。



写真12・13 海王丸 (ビデオ圧縮)

曇

「海の貴婦人」と呼ばれ、優美な姿で親しまれている。年10回程度の総帆展帆を披露。期間中は船内観覧も行われている。

食事 ラーメン 550円 + ビール (350cc) 400円 = 950円

移動 万葉線で高岡駅に戻る予定だったが、国米がフェリーとバスで岩瀬にショートカットできることを発見したのでフェリー桟橋に向かった。途中高架橋の工事が進行中、高い橋脚が立っていた。徒歩15分で越の潟に到着。

13:00 越の潟フェリー発着所着



写真 14 県営フェリー越の潟発着所
(ビデオ圧縮)



写真 15 県営フェリー 堀岡発着所側から
(ビデオ圧縮)

曇

県営で無料。ラッキー！ 丁度いい時間に間に合った（13：20 発）。観光客よりも地元の人達が利用している。車ではなく自転車やオートバイのみのフェリー。

13：20 越の潟発

（5'） 付近の風景を眺めているうちに到着。乗客は 7～8 人。

13：25 堀岡着

期待していたバスは 15：20 までなし。フェリー職員に頼んでタクシーを呼んだ。もう 1 組のお客も一緒に頼んだ。

13：46 堀岡フェリー発着所発

タクシーは海に並行な道路を通過して岩瀬を目指した。メーターがどんどん上がる（24'）ので気になった。フェリーは無料で助かったが別の落とし穴があった。『只より高い物はない』の例え通り。

14：10 富山市『岩瀬』着 タクシー料金（4,390 円：公範負担 2,050 円）

岩瀬散策 歴史がある岩瀬の街を散策（造酒屋、北陸銀行、北前船）。『森家』は国指定重要文化財の北前船回船問屋。屋久杉の板戸、能登産黒松のはり、囲炉裏を飾るロシアの琥珀、土間には小豆島産の巨大な一枚岩などなど、各地の富を集め 3 年の歳月をかけて明治 11 年（1878 年）に建築。



写真 16 岩瀬『森家』 (ビデオ圧縮)

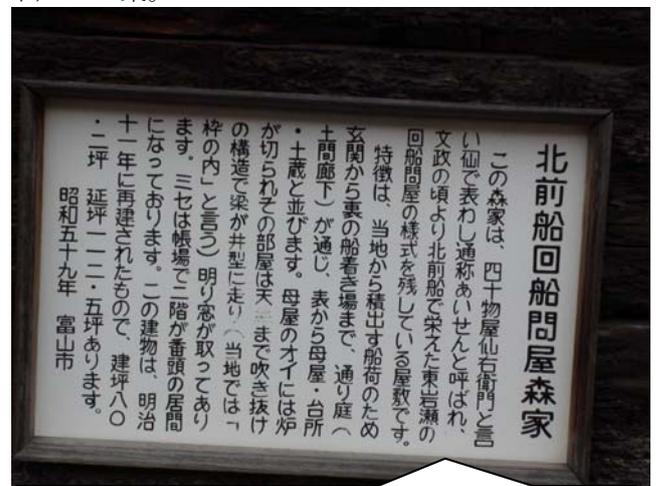


写真 17 北前船回船問屋森家 (ビデオ圧縮)



写真 18 公範 岩瀬旧酒屋 (国米デジカメ圧縮)



写真 19 ライトレール・トラム
岩瀬浜駅 (国米デジカメ圧縮)

曇

岩瀬浜駅まで歩いた。途中運河を渡った。

15 : 01 岩瀬浜駅発 トラム型 (写真 19)

(25') 富山ライトレール

15 : 26 富山駅北口着 200 円 乗り換えのため JR 富山駅に移動

国米の荷物を高岡駅コインロッカーに預けっ放しになっているので、彼一人特急で先行し、高岡駅で合流することにした。僕はホームで各停を待った。連休中のせいか混雑している。

15 : 56 富山発 石動まで 560 円 先頭車両に乗り運良く席を確保。

(49') JR 北陸本線各駅停車 高岡で国米が乗ってきた。彼の席も取っておいた。

16 : 45 石動着 初対面の山田御主人と松本が出迎え

(14') 山田車の後部座席に便乗した。車は次第に田園地帯に入っていく。

16 : 59 山田家着 コンクリート 2 階屋

庭も広がりっぱな邸宅。田んぼに盛土して最近建てたらしく静かな環境だ。付近に隣家はない。近くにタワー (展望台) が見えた。今、中村・木田など数名がタワー観覧の最中とのこと。

先着組が居間に集まり、大広間は宴会の用意ができていた。懐かしい顔々.....

山田御主人は一番遅い六渡 (旧姓川谷内) さんを迎えに行った。

会費納入 : 5,000 円 (仕出し宴会料理) + 5,000 円 (宿坊) = 10,000 円

しばらく居間で雑談。石母田、関田、柴田は夫婦で参加、その他は単独で参加。最近参加している中で今回不参加は吉田、鈴木眞喜子、若佐の 3 人だけ。連休中、遠路はるばる皆よく参加したものだと感じた。

17 : 15 ~ 18 : 00 宴会 山田邸の大広間。食事がメイン。宴会後運転して城端へ移動するので



写真 20 山田邸 中村 (松本デジカメ圧縮)

飲めない人が数名（石母田、柴田、木田、関田、山田御主人）いる。それ以外の男性らは短時間でビール、伊東がハンガリーから買ってきたワインなどを飲んだ。隣に座った松本らと現況報告をしているうちに記念撮影、片付けとなり慌しかった。



写真 21 山田邸記念撮影 後列左から山本桃代（旧姓宮田）、松本、関田、関田小夜子（旧姓藤元）、国米、山田妙子（旧姓早野）、柴田奥さん、石母田奥さん 中列左から柴田、公範、中村 前列左から高橋、石母田、田中純子（旧姓小向）、木田、伊東、六渡（旧姓川谷内）

曇 18:20～18:00 車4台で城端^{じょうはな}へ移動 北陸道→東海北陸道経由

チェックイン 善徳寺宿坊^{ぜんとくじ}

迷いそうな廊下を何度も曲折しながら2階の宿泊部屋に到着。3部屋あり男性が2部屋、女性が1部屋利用。布団などはセルフサービス。荷物を置いて曳山祭り見物に出た。

曳山祭り見物^{ひきやま} 曳山会館前に行く
くと大勢の観客が集まっていた。祭りの曳山は各地区で複数出すが観客は御披露目するここに集中。青森のネブタ祭りなどと比べると小規模だが、古い街並みとマッチして情緒がある。曳山会館から移動して、曳山を作り



写真 22 曳山祭り 曳山会館前（ビデオ圧縮）

、保管している場所に行くと畳の奥に大福様などが鎮座していた。これを山車に乗せて引き回しする。明日の朝はこれが出る様子などを観る予定。



写真 23 曳山の大福様 (ビデオ圧縮)



写真 24 宿坊での宴会 (ビデオ圧縮)

曇

買出し 近くのコンビニ (LAWSON) で飲み物他 (カンビール・つまみ類) を大量に買って引き上げた。

20:50~22:50 宿坊の部屋で宴会

伊東がハンガリー出張で買ってきたワイン2本、他の持込酒 (日本酒、焼酎) を加え、畳の部屋で円になって行った。誰とどのように話したか記憶にないが大いに盛り上がった。夜10時頃、他の宿泊客から騒音クレームがあった。彼らは明朝のお祈りに参加するため早寝したものだ。その後、少しは静かにするよう務めたが酔っ払っているのをついついはめを外した。

明日の立山雪の回廊観光の交通費 9,000 円を山田さんに払った。彼女の夫 (登山家) が早朝立山駅に車で行って手続きをしてくれるそうだ。謝々!

~23:15 入浴 国米と2人だけ。医王山登山組は温泉入浴、他の人は不明。

23:30 就寝・消灯 躰は大して気にならずに眠れた。夜中トイレに1回。

平成 21 年 5 月 5 日 (火) ~6 日 (水) 城端宿坊→立山観光→富山駅→東京駅→八王子自宅

5/5 (火)

晴 6:00 起床 穏やかな目覚め
朝のお祈りに行く人は
いなかった。

7:00~7:20 朝食

宿坊の大広間で食べた。
内容は一般の和食。ご飯
や味噌汁のお代わりは自由。
かなり古い建物らしく壁の
貼り紙や天井の煤など昔の
建物そのもの。他の宿泊客
と一緒に並ん



写真 25 善徳寺宿坊前 (デジカム圧縮)

晴

で食べた。昨夜の苦情主も交じっている。

本堂見学 何人かで本堂などを散策。今朝のお祈りと説教はマイクを使ってお寺中に響いていた。広い荘厳な本堂。

古い建物に古い設備（洗面所、風呂、トイレなど）だが本堂わきのトイレに洋式があったのでそこに入った。そのため部屋を出たのは最後になった。

～8:20 城端^{じょうはな}曳山祭り見学

荷物を車に積んで曳山会館に向かった。丁度^{だとし}山車の準備中で、引き出すときの車輪の音が響いた。大勢の男衆が渾身の力を込めて引いていた。



写真26 城端曳山会館記念碑
(ビデオ圧縮)



写真27 曳山祭り 曳山移動中 (ビデオ圧縮)

晴



写真28 善徳寺前 (柴田・石母田の奥さんを除く麦の会メンバー) (デジカメ圧縮)

晴 8:40 城端『善徳寺』発 松本（富山空港へ）と高橋栄（JR）はお別れ。車4台に便乗。

曇

僕は柴田車の後部座席に乗った（ザックは石母田車）。木田車、関田車、石母田車、柴田車のうち木田車が松本や高橋を乗せて空港へ向かい、後を追いかけて来る。

(1° 30′) →福光 IC→東海北陸道→小矢部砺波 JCT→北陸道→立山 IC→県道 6→

車は並んで進行。大きな渋滞もなく立山駅付近に到着したが、流石に連休中なので駅付近の駐車場は満車でかろうじて遠くの駐車場に潜り込んだ。

10:10 立山駅付近駐車場着

徒歩 7~8 分で立山ケーブル山麓駅に到着。富山鉄道踏み切り手前で山田後主人に合流し今日の予定等について説明を受けた。彼が早朝ここまで往復し、ロープウェイやバスなどのチケット（団体扱い）を取ってくれた。一般客として並ぶと 1~2 時間待ちになる可能性があるとのこと。大助かり！

安いコーヒー店でモーニングコーヒー。会費余りで支払い@250 円。

写真 29 立山駅
前コーヒー店

後列左から中村、
山田、山本、山田
後主人、
前列左から関田夫
妻、田中、六渡
(デジカメ圧縮)



写真 30 立山駅前コー
ヒー店

後方は立山駅
左から山本、山田後主人、山
田、公範、柴田奥さん、柴田、
木田 (デジカメ圧縮)

曇 10:50 整列 団体に並ぶ(15人以上)。一般は大混雑。

11:02 立山発 h=475m

(7') 上昇するにつれて雪を抱いた山々が見えるようになった。

11:09 美女平着 h=975m 一挙に500m以上上昇。その間わずか7分。

11:24 美女平駅発 バス2台。左窓側に山田さんと並んで座った。

立山高原バス。途中左側に落差日本一の“称名滝”が見えた。名瀑100選にも(47')選ばれている。バスはここで一旦停止、窓から眺めた後再出発。最初は少なかった残雪が次第に増えてきた。弥陀ヶ原、天狗平、雪の大谷と過ぎて室堂に到着。

12:11 室堂着 h=2,450m ターミナル内は大混雑

雪の回廊散策前にターミナル内の食堂に入った。これから先は山田後主人がすべてナビゲーター(立山駅から)。

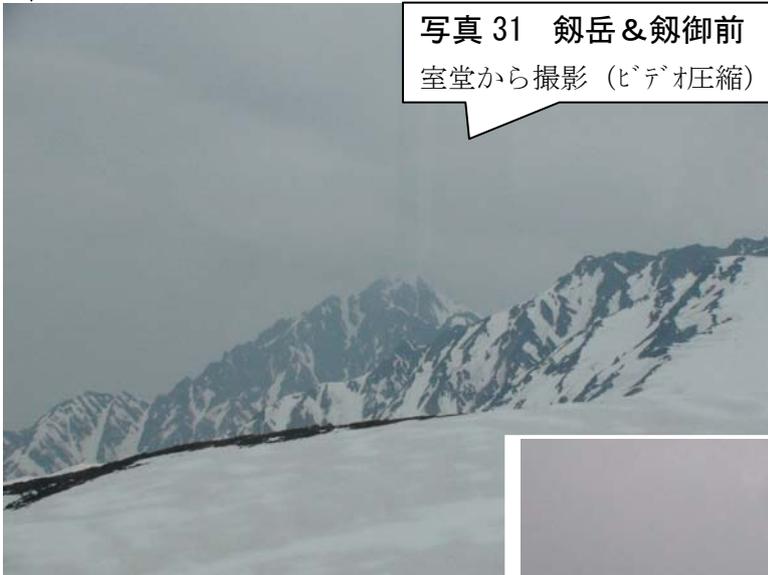
昼食 混雑しているので席は分散。山田夫妻、伊東らと同席。立山釜飯1,350円。負担300円、差額は余った会費(昨夜間違っ倍額9,000円を集めた)で支払い(山田)。

伊東がウィスキーポケット瓶を購入したものを分けてもらった。ほんのりしてきた。

室堂～雪の大谷回廊散策

昨年9月中旬に劔岳～立山縦走したときの風景がそのまま雪に変わって眼前にある。雲が多くすっきりしないが、劔御前の後方に劔岳の頭、別山～立山主稜線(大汝山・雄山)はイメージそのまま。素晴らしい。山田後主人を先頭に室堂の回廊→ターミナル前→雪の大谷往復と歩いた。大谷の回廊はいつもより積雪は少なめと言われたがそれでもMax15mほどあった。

写真31 劔岳&劔御前
室堂から撮影(ビデオ圧縮)



雪の大谷は歩行者通路半分、バスなど車両通行路半分(1車線)に分割され、観光客で混雑。皆一緒に歩き出したが、それぞれが適当な場所で撮影したりしながら分散した。

写真32 立山連峰 富士ノ折立
(左)～雄山(右) 室堂から撮影
(ビデオ圧縮)



曇 最大積雪15mの表示があった。実際目で見てもその程度あった。これが夏になると消えてしまうから不思議だ。

回廊が切れた地点から大日岳、奥大日岳の雄大な風景が眼前に迫る(写真37)



写真 33 室堂ターミナル前 後方は立山連峰 (デジカメ圧縮)



写真 34 室堂ターミナル・ホテル立山前 (デジカメ圧縮)



写真 35 公範 雪の大谷・最高地点 15m 付近 (ビデオ圧縮)

曇



写真 36 立山・雪の大谷 国米（撮影者）を除いた参加者全員（デジカメ圧縮）

曇

写真 37 雪の大谷
展望地点 後方は
大日岳（デジカメ圧縮）

散策中、結構風が強く帽子を飛ばされないように押さえながら歩いた。

室堂ターミナルに戻って暖かいおやきを購入=**260円**

美味い！ 関田夫妻などがまねして購入。



室堂ターミナルは大混雑。はぐれないように皆で固まっていた。

14:26 室堂ターミナル発

(47') バスの右側の席に陣取った。窓側隣席には六渡嬢。しばらく昔話や近況などを話したが睡魔が襲ってきた.....

曇 15:13 美女平到着 時間があるので自由行動 (15:40 再集合)

山田さんに**こぶじめ**をお願いした (5,000 円支払い)。

散策 山田御主人が 30 分で戻って来られるとアドバイスしてくれたので付近のハイキング道を歩いた。伊東が付き合ってくれた。立山杉・ブナ・灌木などの樹林帯内の山道を上に向かった。一旦約 10m 下った後登り返し、その後は緩い上りが続いた。登山靴ではないのでぬかるみを歩くときは慎重に歩を進めた。イワウチワ (淡紅紫～白) の群生があり感激。秩父の伊豆ガ岳で偶然見つけて以来だ。ミツバオウレン (白)、ショウジョウバカマ (淡紅紫) なども咲いていた。これ以上行くと戻る時間がなくなると思い始めた頃、左への分岐があったので迷わず左折。少し進むと車道に出た。そこから車道を美女平まで戻った。



写真 38 イワウチワ
イワウメ科 (ビデオ圧縮)



写真 39 公範 美女平付近
立山杉巨木 (ビデオ圧縮)

曇

16:10 美女平発
立山ケーブル
(7')

薄 16:17 立山着

日

ここで皆とお別れ。
皆は駐車場に向かったが、僕は富山鉄道立山駅に行き、電車の出発時刻を確認。

17:12 電鉄富山行
山田御主人が立山カルデラ『砂防博物館』が近くにあることを教えてくれたので、そちらに向かった。



写真 40 美女平駅前 国米撮影 (国米デジカメ圧縮)

最近立山カルデラ砂防工事の記録に関する本を読んだので興味があった。数分歩くと『砂防博物館』があった。残り時間から判断して中には入らず、常願寺川に向かった。川幅は広

薄
日

く、大きな玉石が転がっていた。しっかりした護岸工事がなされ、遠くに砂防堰堤が見えた。右岸には当時使用された狭軌鉄道（約 60cm）のトロッコ駆動車が展示されていた。河畔の広場は駐車場として利用されている。上流数百mまで散策。砂防工事の苦勞を思い、しばらく川付近を眺めた。今日は水量も少なく大人しい川だが一旦大雨が降ると大変な暴れ川になる。



写真 41 立山カルデラ
砂防博物館石碑 (ビデオ圧縮)



写真 42 常願寺川 奥は上流 (ビデオ圧縮)

薄
日

16 : 58 改札に並ぶ すぐ長い列になった。

17 : 12 立山 1,170 円

(1° 00′) 富山電鉄、2 両編成
座席を確保。読書、仮眠。

18 : 12 電鉄富山着

JR 高速バス東京行き
の乗り場を確認。23 : 14 ドリー
ム金沢号

市街散策 時間が
あり過ぎるので富
山市街を散策。駅
前の観光案内所
でパンフレットを
貰って

出かけた。この時
間になると休日の
せいか駅前

から少し行くと人
通りが減って寂し
くなった。あちこ
ちふらふらしなが
ら富山城址まで
行き戻った。城址
は公園として開放
されていたが、リ
ニューアル工事中。
暗くなり始めたの
であまり見るべき
ものはなかった。

駅前には EXCEL
HOTEL TOKYU や
東横インなどが
あり、市電が縦横
に走っている。今
の時間の交通量は
少ないが道幅が
広い道路、大きな
ビルなど県庁所
在地としての風
格はある。

19 : 00 ~ 20 : 00 レストラン『小馬』で夕食 オムライスが自慢の店

インドカレートッ
ピングのオムライ
スにサラダがつい
て 730 円、コーヒ
ーを追加すると
160 円 (割引) と
安い。合計 890
円で量・質とも
十分な内容。

持参の本を読み
ながらゆっくり
食べた。若いアベ
ックが数組いた
がお互い気にせ
ずに過ごすこと
ができた。オム
ライスは自慢す
るだけあってソ
フトな味が美味
しい。



写真 43 トロッコ展示
狭軌レール (ビデオ圧縮)

曇 散策 再び駅まであちこち寄り道しながら時間つぶし。駅付近の LAWSON でクリームパンとチョコレートを購入。295 円

駅待合室で読書 『命輝ける毎日』中井 まり著 (22:15 読了)

21:10 洋子へ電話

23:00 乗車 乗車票とクレジットカード確認。座席は 5B (中央トイレ付近)。6B が空いていたので荷物を置いた。

23:16 富山駅発

(31') →富山 IC→北陸道→

23:47 有磯海 SA 着 トイレ、お土産購入 (こしひかりで作ったもち) =1,050 円

5/6 (水)

0:05 有磯海 SA 発

→北陸道→渋滞→一般道→上信越道→藤岡 JCT→関越道→ 上越 JCT 手前で

(4° 12') 渋滞していたが運転手の機転で一般道に迂回。その後再び高速道に乗った。遅れはなし。

4:17 上里 SA 着 雨が降った跡あり、トイレ

4:36 上里 SA 発

(1° 31') →関越道→首都高→都内→

曇 6:07 東京駅日本橋口着 ほぼ予定通りに到着。バス内では姿勢が苦しくよく眠れず。急いで歩いて東京駅 JR 中央線ホームへ。路面は濡れていた。

6:20 JR 東京発

(18') 中央線特別快速高尾行

6:38 JR 新宿着 190 円 (SUICA) 京王線に乗り換え

6:48 京王新宿発

(21') 快速八王子行

7:09 調布着

7:10 調布発

(20') 各駅停車橋本行

7:30 京王堀之内着 370 円 (SUICA)